

令和4年加西市第1回子ども・子育て会議

日時 : 令和4年10月6日(木)
9時58分～12時16分
場所 : 加西市役所 4階入札室

開会

委員紹介

教育長挨拶

パンフレット「ただのまち加西」についての説明をお願いいたします。

○事務局 5つの無料化説明

協議事項

1 令和5年度 認定こども園・小規模保育所等 入所申し込みについて

○A 委員 保育士の研修という部分でちょっとご質問があるんですけども、息子が今中学生になって私が感じるのが、多様な考え方やそういった根本の人間形成というのがやはり幼児期ってすごく大事だったなと痛感しています。STEAM教育というのを、小学校からするのではなく、私は幼稚園の先生たちがまず理解して欲しい。大人の理解、学校では、結局先生方がジェンダーとかといった多様な意見をまず受入れていないというのが現状なので。そこで先生たちの考えを、教える側が変えていくのが、すごく大事です。私は幼児期って大事だなんて思うので、研修の中でも、子どもの基本的な育て方という部分も必要やと思うんです。そういったジェンダーにしても、多様な意見があって、男の子は男の子らしくとかも必要だと思うんですけども、いろんな心を持った子たちがいるということをまず大人が理解して、その幼児期の子たちを育てる。その中にそういった先生方の理解があれば、子どもたちも自然と変わった意見を言う子に対しても、あ、そういうこともあるんやなと柔軟に受け入れる。幼児期だからこそ柔軟に聞き入れるのではないかなと感じています。中学校で息子に対して(心ないことを)言う子に対して、恨むとか、教育委員会に何とかしてくれとかという気持ちよりも、まずやっぱりそういった根本を、そこを直していかないと、いくらジェンダーです、多様性ですと言っても、みんなが染みついたそういった中で、差別とかいじめというのは絶対なくならないと思う。まず柔らかな幼児期にそういった教育、STEAM教育の根本である多様な意見とか、変わった考えの子がいたってそれは受け入れよう、という教育をしていただけたらと思います。

○D 委員 今現場ではやはり1人1人を大事にするということが叫ばれておりまして、園でも努めております。それで関りが必要なお子さんに対しましては、それぞれ加配職員も付いておりまして、そのお子さんのペースであり、また好みであり、それから苦手なこと、いろんなことを把握して、保護者ともその情報を共有しながら同じ方向を向いて前に進めるように、やっぱりみんなと一緒にいいじゃなくて、みんな違ってみんないいという考えで保育に努めております。

○B 委員 A委員さんが言っておられたのを聞いて思ったんですけど、うちは娘が年長さんで、園

の様子がよく分かるんですけども、子どもたちのほうがどっちかというと頭が固くて、男の子はこうじゃないとだめ、女の子はこうじゃないとだめっていうのが結構あります。私は、先生たちがちょっとずつ変わってくださっているなというのを感じています。うちの娘が、女の子がトミカかなんかのリュックを背負っているのを見て、それって男の子の持つてるやつだよ、と言ったんです。「うわ、言いよったな」と思って。でも先生がすごくうまく、「だってこれが好きなんやから持っていいやん。これ別に男の子のやつじゃないし」って。「好きなリュック持っていいんだよ」って。「だからあなたも好きなのを持っていいんだよ」っていう。すごくうまく、もっと上手でしたけど。上手に導くような言い方をされていたので、やっぱり少し変わってきているのかなという思いもある。逆に、人間対人間のつき合だと思ってくださっていないのかな、と思うような先生もいらっしゃったりとかして。とりあえず今日1日終わらせたらいいみたいな感じの先生もいらっしゃったり。やっぱり、人間を育てているということを忘れずに、いい人材を採っていただきたいです。人数が多いというより、人間を育てるという意識のあるいい人材をお願いしたいと思います。

- E委員 福祉会館のひまわりルームを運営しております、今、心理士と相談員でもある心理士と一緒に園訪問を随時回らせていただいています。園訪問の対象児さんは、より密接な支援を必要とされるお子さんです。その中には、保育士の先生が、ご自分のプライベートな時間も削って一生懸命その子のために勉強して、その子に寄り添っていただいている方もいらっしゃる。また、そのお子さんだけでなく、保護者さんの子育てに対する思いに寄り添っていただいている先生もすごくいらっしゃって、いつも保育士の先生には本当に頭が下がる思いであります。

ただ、加配の先生とかは特にそうだと思うんですけど、身を削るようにして子どもたちに接していただいているんですが、現実的には、子どもさんの100%の気持ち、お母さんの100%の気持ちに添えるまでにはまだ至ってないのかなという思いで、ちょっとジレンマを抱えております。

- E委員 時間を割いていただくのは申しわけないなと思いながら、伺わせていただいているんです。保護者さんにも、いつでもしんどいことあったらひまわりルームのほうにお電話いただきたい。本当に聞くだけになってしまうかも分からないですけど、それが1つの突破口になるかもしれないという思いでお電話を受けさせていただいています。保育士さんの研修もさることながら、みんなでみんなの気持ちに寄り添っていききたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

- C委員 現在、小学校2年生と年長児と2歳児クラスの子とがいて、おなかに今9か月の子どもがいる状態なんですけど、3月から仕事復帰をしようと思っていて、入所の申込みについて子ども未来課のほうへご相談させていただいたときに、3月の申込みだったら12月までに申請していただいたら間に合いますよとご案内していただいたので、園に伝えたときに、園としてはそれは遠慮してほしいみたいなことを言われました。0歳から2歳も充実させていこうって、すごく皆さん思ってるのをすごく感じたんですけど、現場ではなんかなかなか多分負担感が大きいのか、できればその申込はしないでほしいみたいなことを、直接保護者の私に言うみたいなことが起こっているので、なんだかギャップが起こっていたりするのかなというのを感じたので、せっかくなのでちょっと今日お話しさせていただきました。

- 事務局 その件は聞いております。受けてください、とこちらは返事しており、受けますとおっしゃったと思っていたんですが。この会議で個別の話は避けたいと思いますが、少なくとも「受けます」と言うはずですが。

- C委員 それがそうではないんです。そういうのはあんまり、みたいな感じでやんわり言われるんです。申し込んで結果だめでも、私も納得できるんですけど、申込み自体をしないでくださ

いみいたいな申し出をされてしまうと、何かちょっとしんどいと思います。

○事務局 指導させてもらい、きちっと対応いたします。

○会長 来られた方は全部受け入れたいんですけれども、今もおっしゃっているように、スタッフががいなかったら（0歳児は先生一人で児童3人までと決められている）、そこが心苦しいところでもあるんじゃないかなと思います。

この件につきましては、皆さんで念頭におきながら考えていかないといけない課題だと思います。

2 小規模保育所の開園について

○事務局 現在のところ昨年の10月に1園、この4月に1園開園しており、今後2園を開園する予定です。開園済みの小規模保育所としましては、令和3年10月1日愛の光ナーサリー、続いて令和4年4月1日にサンライズキッズ保育園の加西園が開園しております。

開園予定の小規模保育所としまして、プレイズ株式会社というところが優先交渉決定権者に決定しております。これがここまでの経緯です。

3 北条東すみれこども園引継ぎ保育状況について

○教育長 大変きれいにまとまっているんですけど、ご自身の感じていらっしゃる一番重要な問題意識はどこ辺にありますか。

○事務局 いろんな先生たちの思いがおりなので、大きな目標のもとに子どもたちの教育・保育をしていきたいというところが、まだちょっと1つにはまとまっていないのかな、というふうには感じています。運営保育内容が劇的に変わらないように保育をしていただくようにしております。立ち上げの当初はどんな組織でもそうかと思うんですけども、うまくいっていないところも確かにあるとは聞いております。それも時間をかけて共有し、チームワークをつくっていただくように指導しておりますので、今のところは大きな問題はないのかなとは思っております。

○F委員 もう1点、大事なのは単なる事務的な切替えではなくて、新たな枠組みの中でやるとして、その中で中心は子どもですから、子どもたちがどんなふうに育ちゆくのが大切です。改めて幼稚園教育要領、保育所保育指針に示されている人間性教育、人間性の培いの部分は、どうきちっと伝えていくか。保育所保育指針には、3つの資質、能力と、育てほしい10の姿がありますよね。あの辺はもう少しまろやかに、子どもたちが将来、生涯にわたって、幼児期だけじゃなく生涯にわたって培っていく、育っていく、あるいは育んでいく視点として、常に当事者はそこのところをしっかりと受け止めていく必要があると思うんですよね。ぜひ読んでください。

○B委員 行政が認識されている現場の状況と、親が感じていることに正直、差があるなと感じます。いろいろな声を聞いたりしても、「やっぱり先生らは分かってくれてないねん」という方もいる。お母さんたちの生の声でもっと生々しい。加配の子の先生の対応1つで、そのお母さんの子育て全てが否定されたと言っている方もいました。「あの先生である限りはもう行きません」と言っている人もいます。そういうことが現実でもある。子どもに対してはこうなんですよと言われても、親の心が死んでいたら、もうその先生と関わりを持たない。ということは、いい教育ができないというのもある。そういう声を上げてと言っても、どうせ聞いてもらえない、と親が思っているケースもあるし、すごく差があるなと感じました。たとえば課長とかも、いろんな話を聞かせてほしいとおっしゃるので、私も結構行くほうなんですけれども、まわりの意見を持って行く

というより、本当はそのお母さんが直接言えるようになったらいいなと思うんです。そこに少し違和感をもちながら聞いていました。

- E委員 あるこども園のことで、お母さんがすごい不安を抱えてらっしゃる件もあって、この夏以来接触しております。お母さん自身の不安な気持ちを直接現場の先生にお話することはなく、園長先生とかに申し上げることが多いんです。そのときに、お母さんにきっちり説明していただけないケースもあります。最終的には平行線状態で、お母さんが「もういいわ」みたいな感じで頓挫していることが多い。小学校に上がる就学の時点まで、とにかくあんまり言ったらまたぐちゃぐちゃになるんじゃないか、みたいな気持ちで、もう今回はいいわみたいな感じで収まっている状況なのかな、とこの夏ぐらいからは感じております。
- 事務局 未来課のほうにも直接ご意見もいただいたりしています。ちょっときついことも正直言わせていただいたりしています。保護者のご意見や、もちろん子どもが一番というのは揺らぎがないんですが、先生たちも悩まれているのは事実です。だから、そういったことも加味しながら、園の運営はもちろん子どものことももちろん、何とかいい方向を向かないと、と思っています。
- A委員 園でもめている根本は、母親に支援がないことや私は思います。すごく責められるんですよ。主人から責められ、まわりから責められ、おまえがちゃんと育てへんからって、多分、結構母親は孤立していると思うんですね。だから親への支援が本当に大事。B委員が言ったように、お母さんたちも一番苦しいんですよ。だからそういったところに寄り添ってあげる。園の先生たちが、まずお母さん聞いてあげようとするれば解決するんじゃないかなと思います。
- 教育長 A委員はお母さんへの支援は、具体的にどういうことがあったらいいと思っていच्छゃいますか。
- A委員 私の場合は、孤独だったときはどこに相談していいか分からなかった。でもまずマーブルキッズさんに私は行くことができたんです。それは保育園で、お母さんたちにこういうところがあるよ、相談するところがあるよ、と聞いて、行かせていただいた。でもいろんなお母さんがいて、1歩踏み込めない人もいる。そこがすごく難しいんですけど、しんどそうなお母さんがいたら、どうですかとか、支援というのは声かけ、それがまず大事かなって。
- G委員 ほんまに苦しんでるのは本人なんですよ。これは高齢者でも障害者でも同じですね。それを親が代弁してしまうから、ちょっとものの言い方悪いですけども、言葉で表現できない人たちは、例えば、中学生の不登校生では、その子が一番悶々としてるわけですよ。そして、それを自分で分かれば、その子がなぜ悶々としているか、「お母ちゃんこんなんでも困ってる、」って話せるわけでしょう。気に入らん先生でも、僕これで来えへんねんで、って話ができたら、僕は学校は成立すると思います。
- H委員 とにかく加西市に入っていたいただける先生方を、少しでも優秀な人に入っていたくように行政のほうも努力していただかないといかんというふうに思います。
- B委員 やめちゃった人の意見も知っているし、私みたいに何でも言えて、ちょっと態度がきつかったりとか、私のことめっちゃ嫌いやな、と思っても、よし頑張ろう、うちの子のために、って何回も行きましたけど、やっぱり涙するときもありましたよ。でもそこまでの強さは普通はない、というのは分かっています。

4. 未来型児童館の進捗状況について

- 教育長 私が提案した視察は、いつ頃になるのでしょうか。

- 事務局 先ほど聞いたばかりなので、課題の整理が終わって、その後に視察するという形になると思いますが。
- 事務局 1月までに行かないと。
- 教育長 皆さんはどうですか。皆さんが反対だったら、無理やり視察というのも何なんですけど。
- F委員 今ちょっと検索してみたんですけど、小牧の視察に行かれるということはいいことだと思うんですが、その前に、今日最初に何か小牧をピンポイントで言われたんですけど。
- F委員 加西市がやろうとしている未来型児童館の類似施設の一覧をつくってください。全国の中で絞り込んで行っていただくのは非常にいいんじゃないかなと思います。
- 教育長 私は別に小牧のことは知らないのですが、ここが絶対にいいと言っているわけじゃないんです。例えばこういうところもありますよと例示させていただきました。もちろん皆さんからの意見で、もっとこういういいところがあるとか、ご意見があれば。ただ、たたき台がないと無理です。そういうのを提案してください。
- 会長 それぞれのお立場で、全国的にいろいろ調べていただきまして、ここがいいかなというようナリストアップを事務局のほうに、今月中ですか、リストアップは。
- 事務局 今月中ぐらいにいただけたらありがたいです。
- A委員 9月21日の読売新聞を見て、今回このパシフィックコンサルタンツ、他市では指名停止になっている業者だそうなんですけども、加西市はそれを承知で契約されたのか。それについて、このままこのパシフィックコンサルタンツさんの企画のもとでこの未来館をつくるのかは確認したいなと思いましたので、申し訳ないですけど発言させていただきたいと思います。
- 教育部長 今回の業務は入札指名停止とは基本的には別の募集形態の公募型プロポーザルです。業務執行能力、今回の我々の発注した業務を遂行できるかという参加資格能力はある、というふうに見定めておりますので、しっかりとした業務はしてくれるものと考えております。ただし、我々もその情報自体は今では知り得ていますので、そこの進捗管理は適正に行っていく必要があるというふうには考えています。
- 教育長 決定されてから、提案内容の中身もきちっと読ませていただきました。なかなかいいなと思いましたが、少し足りないところを要求しました。それに対してもきちっと答えていただいています。内容的には問題はないと思います。実行能力もあって提案力もあると、今のところはそう判断しています。きちんと管理監督をしていくということにするべき、と考えております。
- 委員 もう1点いいですか。未来型児童館ですが、私たちの中では何もコンセプトとか目的がはっきりしないままだったのに、そこに委託したのかとか。議会である議員さんが、子育て会議で「ミライエみたいなものを要望している」と言われていましたが、私たちはむしろ反対していたはずなんです。私たちの中での話し合いで、結局枠組みもできなかったままですよね。それが、ふたを開ければ業者に委託しますという話になっている。あれ、私たちの話合いどう反映されたのかなと思うんですけど。業者さんに、こういう提案もあると伝えた上で、プランを立てられたのか、その辺もどうなのかなという疑問があります。
- 教育部長 今まで進めてきた工程は、当然に踏まえうえで今後も進めます。ただ今回の業務発注の中で、もう一度市役所内、庁内会議も設けて、市民も含めたワークショップも開催していく予定にしております。この場の協議も踏まえながら最終的な決定はこちらがしていくというふうに進める考えです。
- 会長 では、事務局のほうでスケジュールも工程表もつくってください。今新たに出ました視察場所というところまでもいっておりますので、まずはそのあたりで進めていかれたらいいかがか

などと思います。よろしいでしょうか。じゃお願いいたします。

では、その他の項目があるんですけども、何かほかにご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

その他ないようで、皆様からのご意見も出尽くしたようでありますのでここで進行を事務局のほうに戻します。本日はつたない会長の進行役で皆さんにご迷惑をかけたと思います。何とか無事に議事進行が終えましたこと、皆様のご協力によりましてありがとうございました。それでは事務局よろしくお願いいたします。

5. 教育部長挨拶

6. 閉会